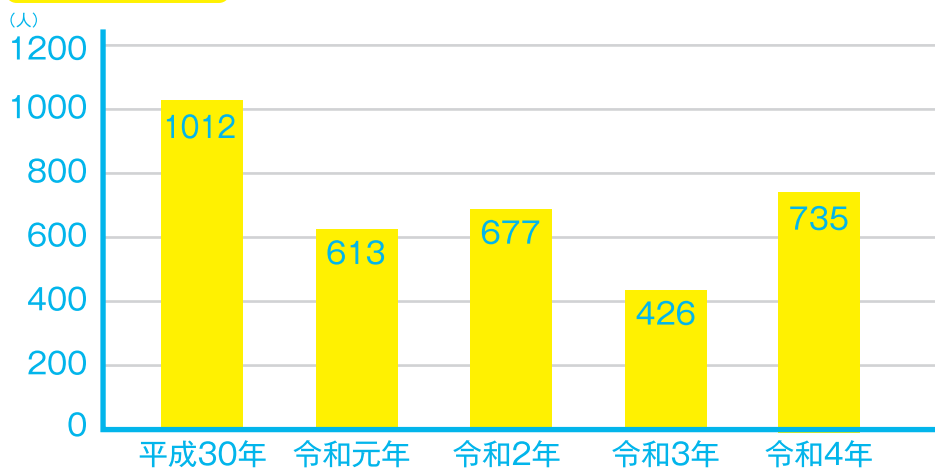


熱中症 救急搬送者数 (6月~9月)



(提供:さいたま市消防局)

令和4年の熱中症による救急搬送者数は735人となっています。熱中症は誰にでも起こりうる症状です。熱中症が起こりやすい条件や予防方法などを知り、ご自身はもちろん、周りの方々とも声をかけあって熱中症を予防しましょう!

高齢者の注意点



- 高齢者は暑さやのどの渇きを感じづらくなっているため、熱中症になりやすいので、注意が必要です。
- のどが渇かなくても、こまめに水分をとりましょう。特に、入浴前後、寝る前には水分をとるよう心がけましょう。
- 部屋の温度を確認し、節電中でも上手にエアコンや扇風機を使いましょう。



乳幼児の注意点



- 乳幼児は体温調整機能が十分に発達しておらず、また気温の影響を受けやすいため、注意が必要です。
- 晴れた日は地面に近いほど気温が高くなるため、乳幼児は大人以上に暑い環境にいます。ベビーカーにも注意が必要です。
- 一度にたくさん飲むことができないので、こまめに水分を与えましょう。
- 「少しの時間だから…」と車内に子どもを置き去りにするのは、大変危険です。絶対にやめましょう。

熱中症 かなと思ったら...



熱中症に関する情報は、さいたま市WEBサイトからご覧になれます。

お問い合わせ

さいたま市保健衛生総務課 ☎048-829-1294 FAX.048-829-1967
さいたま市消防局救急課 ☎048-833-7921 FAX.048-833-7201

このチラシは80,000部作成し、1枚当たりの印刷経費は3円です。